

ぼうはん 防犯

ネット犯罪から身を守る

サイバー犯罪



なまえ

年 組 番

点

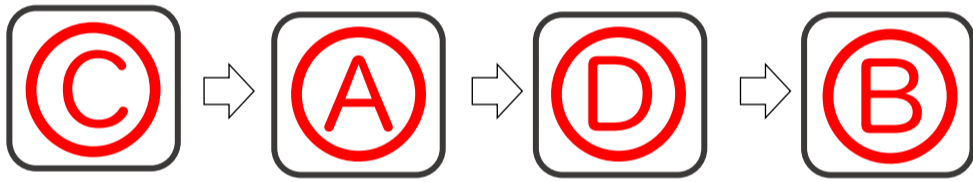
1 フィッシングの被害にあった場合の経過を順番に並びかえましょう。(1問5点:20点)

① フィッシングサイトに誘導される

② アカウントが乗っ取られる

③ 身の覚えのないメールが届く

④ フィッシングサイトにIDとパスワードを入力する



2 サイバー犯罪に関する問題です。説明内容が指していることを から選び、線でつなぎましょう。(1問5点:20点)

勝手にメールやメッセージを大量に送り付ける行為。

コンピュータやスマートフォンに被害をもたらす、悪意のあるソフトウェア。

キーボードからの入力を記録するソフトウェア。

コンピュータへ不正にアクセスするための裏口のこと。

キーロガー

スパム

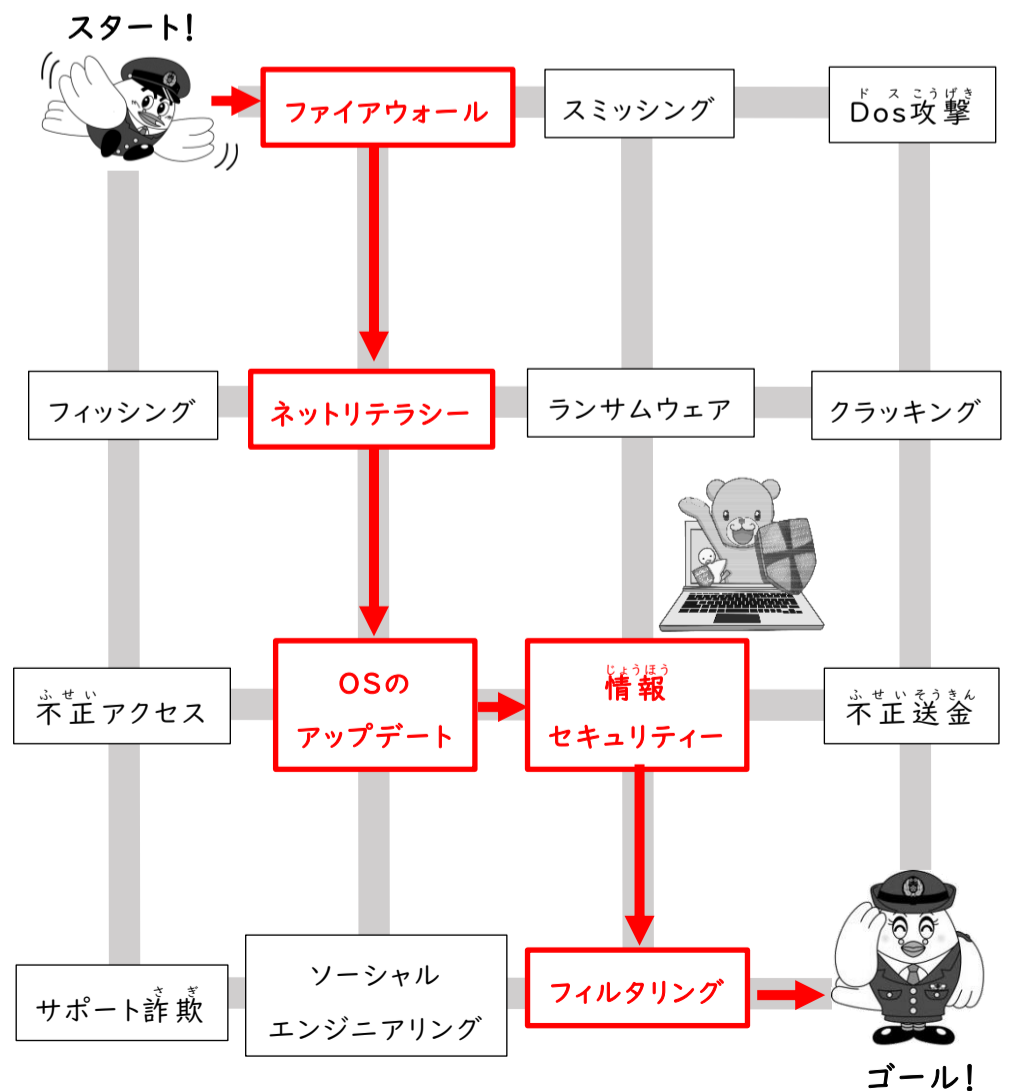
バックドア

マルウェア

3 次の説明文を読み、正しいものには○、間違っているものには×をつけましょう。(1問5点:20点)

- ① コンピュータの専門家であれば、一目見ただけで偽サイトを見破ることができる。 (X)
- ② フィッシングの被害は、最初にメールが送られてくることが多いが、電話から始まることもある。 (O)
- ③ コンピュータウイルスは、アプリをダウンロードした時やメール等にかかれたURLに接続した時など色々な場面で感染する可能性がある。 (O)
- ④ ホワイトハッカーは、サイバー犯罪からシステムや情報を守る専門家である。 (O)

4 サイバー犯罪に関する問題です。サイバー犯罪のキーワードを 通らずに ゴールまで線を引きましょう。(40点)



ぼうはん 防犯

ネット犯罪から身を守る

サイバー犯罪



なまえ

年 組 番

点

5 下はサイバー犯罪対策のキーワードです。□の説明文が横にある□のキーワードと合っているものをすべて選びましょう。(1問5点:20点)

- A 外部や自分からの通信を制限して、不審な通信を防ぐシステム。ファイアウォール
I OSやソフトウェアのプログラムを更新すること。サンドボックス
U 子ども達が安心して安全にインターネットを利用する手助けをするサービス。フィルタリング
E インターネットを安全に正しく使うための知識や能力。ネットリテラシー

答え ア ウ エ

6 下の子ども達はインターネットを安全に使うためには、どうしたら良いか考えています。良くない考えにXをつけて、消しましょう。また、この他に気を付けることを□に書いて、教えてあげましょう。(30点)

Illustration of children with speech bubbles containing bad advice like 'Don't tell adults about trouble', 'Ignore unknown emails', 'Don't filter', 'Don't update', 'Don't be careful'. Includes a penguin mascot character.

※他にも気を付けることを書きましょう※
例 ファイアウォールを設定してもらう
知らない電話番号からの電話は出ない

保護者の皆様へ

サイバー空間における技術の進歩は著しく、その利用は急拡大し、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用しています。
そのような中、新しいサービスや技術を悪用した犯罪が次々に出現するなど、サイバー空間は常に新しい脅威にさらされています。
サイバー犯罪の中には、子ども達が、犯罪に利用されたり、被害者になってしまうケースも多くあります。そのため、子ども達自身にもサイバー犯罪の危険から身を守る力が必要となりますが、一朝一夕で身につくものではありません。
子ども達がトラブルに巻き込まれることなく、安全に安心してインターネットを利用するためには、我々大人がインターネットを正しく理解し、子ども達を見守っていくことが重要です。
ぜひ、この機会に「安全にインターネットを使うためにはどうしたら良いか」を改めてお子様と話し合っただき、お子様の成長を踏まえた上、各ご家庭の環境に合った「家族のルール」を考えてはいかがでしょうか。

家族で話し合ったことを書いてみよう

Three bullet points for family discussion notes.



埼玉県警察 サイバー対策課 公式X
埼玉県警察 ホームページ

